

市では昨年から「地域ケア会議」を開催しています。地域ケア会議は一人では解決できない高齢者の困りごとを、地域のみんなで解決していかうとする場で、「地域包括ケアシステム」を実現するための手法です。

▶「地域ケア会議」の5つの働き

- ① 高齢者の困りごとの解決方法を考える働き
- ② 困りごとに対して地域みんなで協働してネットワークをつくり、お互いの役割を明らかにする働き
- ③ 同じような困りごとを抱えた高齢者がいた場合、そこから地域の課題を発見する働き
- ④ 地域に必要な資源は何かを明らかにして、地域づくりを行う働き
- ⑤ 会議を積み重ねていき、地域に必要な取り組みから、小諸市の新たな政策につなげる働き

▶「地域ケア個別会議」と「地域ケア推進会議」

「地域ケア会議」には大きく分けて2つの会議があります。

【地域ケア個別会議】

地域包括支援センターが主体となり、地域にお住いの高齢者の困りごとについて、介護、医療や地域の皆さんと解決策や改善策を話し合います。

【地域ケア推進会議】

市が主体となり、地域での高齢者が生活するために地域課題の解決に向けて、各団体の代表者の皆さんと対応の検討について話し合い、社会資源の開発や取り組みに結びつけます。

▶実績があります!!

「地域ケア個別会議」では、ある認知症の方の生活面が心配と地域から相談があり、関係者で「地域ケア会議」を開催したことにより、地域のネットワークが形成され、生活面などの改善が図られた方もいます!

市では、高齢化率が進み高齢者の単独世帯・夫婦世帯、認知症高齢者が増加すると見込まれる将来に備え、「地域ケア会議」を開催するなど、地域包括ケアシステムを推進していきます。市民の皆様のご協力をお願いします。



住み慣れた地域で豊かに安心して暮らせる地域をめざして

「地域ケア会議による地域包括ケアシステムの実現」

「地域包括ケアシステム」とは、誰にでもやがて訪れる高齢期を安心して迎えるための「地域づくり」のことです。

■ 高齢福祉課 高齢者支援係



行方不明者の早期発見・保護にご協力をお願いします

市では現在、行方不明者が発生した場合、防災行政無線放送等でお知らせをしています。最近における行方不明高齢者の増加や上記の地域ケア推進会議での検討を踏まえ、今後は既存の方法に加え、メールによる情報提供も行っていくこととします。

メール配信にあたっては、市で運営をしている「小諸もろもろマップ」のメールマガジン「行方不明者情報」により配信します。そのため、あらかじめ「小諸もろもろマップ」の利用登録（無料）が必要となります。

発見が遅くなればなるほど、本人は強い不安を感じ、事故等の危険性も増します。また、ご家族の心配や心身の疲労も非常に大きくなります。少しでも早期発見・保護につなげられるよう、ぜひ多くの皆様のご登録とご協力をお願いします。

※小諸もろもろマップの登録方法は、右記二次元コードまたは、市ホームページをご覧ください。

■ 高齢福祉課 高齢者支援係



▲二次元コードから登録手続きができます。